

■令和3年度 第1回空家座談会を開催しました！

日 時：令和4年3月22日（火）午後6時30分～7時50分

場 所：倉永校区コミュニティセンター

参加団体：倉永校区民生委員・児童委員協議会

人 数：11名

【内容】

●カードゲーム

講師：一般社団法人 住教育推進機構 井上 静夫氏、山城 京子氏

・講師2名による進行で、カードゲームが行われました。

カードゲームのルール

- ・4～6人程度を1つの班とします。（今回は、2班に分けました）
- ・赤、青、黄のカードを自由に選択します。答えたくないカードは選ばなくてよい。
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。（選択肢があれば、その中から選ぶ）
- ・話を広げます（アドバイスなども聞く）
- ・否定をしません。（他人の意見を聞く）

＜カードゲームのようす＞



会場：倉永校区コミュニティセンター

●＜カードゲーム＞

質問：今後、空家は増える？減る？

（意見）・子供が同居を嫌がっているので、空家は増えると思う。

・若い人は、家を新築する。親の家に戻ってこないで増えると思う。

・自分の身の回りに空家が増えている感じがする。

（講師のコメント）

・夜に明かりが無いと寂しい。空家だと一目で分かる。

質問：高齢のご夫婦が亡くなったら、家はどうなりますか？

（意見）・空家になり、そのまま廃れていく。

・市内に子供がいるので、実家に戻ってくる。

質問：近所づきあいしていること、しなければならないことは何？

（意見）・新築の家が多いけど、自治会に入ってもらいたい。

・外灯が無いと暗いし、子供たちも危ない。

・仕事している人も、自治会に協力してもらいたい。

・田舎は自治会に加入するけど、新興住宅地は入らない人が多い気がする。

質問：家を長持ちさせるためにしていることは？

（意見）・窓を開けたりして、風通しを良くしている。

（講師の助言）床下が大事。床下に石灰などを散布するとシロアリが来ない。

質問：住まいの近くにあって欲しい施設は？

（意見）・今は、車の運転ができるので、特になし。

・うちの周囲は市街化調整区域なので、何でも建てられない。

●羽山台住まいるノートの紹介

- ・空家の予防を目的に羽山台校区の方と一緒に作成した、「羽山台住まいるノート」を市の建築住宅課より紹介しました。お盆やお正月に家族が集まった時に、気軽にわが家の将来について話し合ってもらえるような内容となっています。

●「空き家・空き地窓口相談」の紹介

ありあけ不動産ネット協同組合 理事長 川添 健一 氏

○大牟田市と協定を結び、新栄町で空き家空き地相談窓口を運営しています。この黄色のパンフレットは、みなさんの家について、早めに対策をしていただくことを目的に作成しています。

○ご相談時には、固定資産税の納付書など資料をお持ちいただくと、スムーズに相談に乗れます。



【感想】

令和3年度も、新型コロナウイルスの影響により、空家座談会になかなか応募はありませんでしたが、地道に地域や団体に声をかけ、やっと開催することができました。参加者の皆さんには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今回の参加者は倉永校区の民生委員・児童委員の皆さんで、日頃より地域のお世話をされておられ、自分の身の回りにも空家が増えたと実感されていたそうです。座談会に参加して、改めて空家問題を考えるきっかけになり、とても良かったというご意見をいただきました。

夜に開催された初めての座談会、仕事や家庭の用事もある中で、参加者の皆さんの貴重な意見を聞き、私も毎回新たな気づきがあり、これからも成長していきたいと思いました。

<T>

